



根室(落石)地域マリンビジョン策定(モデル地域)

現状と課題

- ・大規模災害発生時において陸揚げ機能が停止した場合、地域の水産業に甚大な損失を及ぼすことが懸念されている。
- ・イカ釣り外来船等の避難漁船が安全に入港・避難停泊できる水域が十分に確保されていない。
- ・野天での陸揚げ・荷さばき作業を余儀なくされており、直射日光や降雨による漁獲物の鮮度低下や鳥糞・羽毛等の異物混入が懸念されている。

港勢 (R4港勢調査)

登録漁船:204隻
 利用漁船:212隻
 (内、外来漁船:9隻)
 属地陸揚量:3,747トン
 属地陸揚金額:21.2億円
 主な魚種:コンブ類、タコ類
 組合員数:127人

◎落石漁港の役割

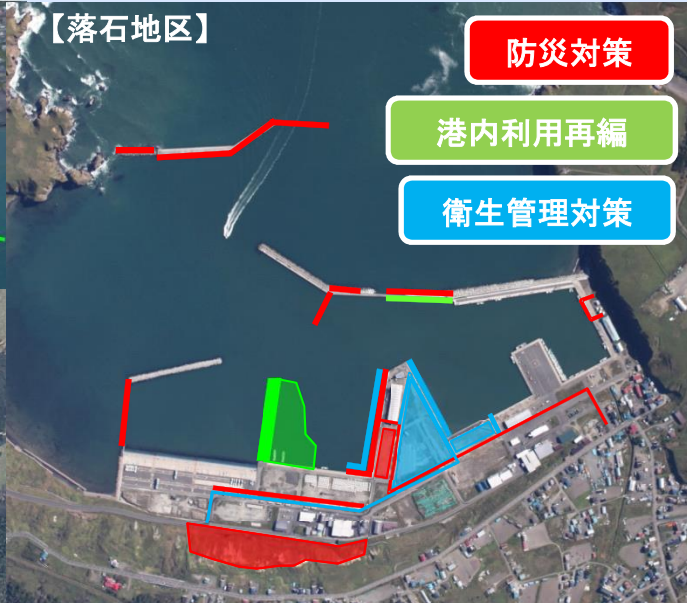
- ・北方四島水域を含む太平洋北西部漁場におけるサケ定置網、採藻、タコかご等の沿岸漁業の流通拠点
- ・周辺海域で操業する道内外のイカ釣り漁船の陸揚げ基地

主要対策

【昆布盛地区】



【落石地区】



防災対策

港内利用再編

衛生管理対策

【浜松地区】



主な整備方針

- ・粘り強い防波堤の整備により津波被害の軽減を図るとともに、耐震性能を強化した岸壁や津波漂流物対策施設などの整備を行い、水産業の早期再開を図る。
- ・漁港合併による機能分担を図り、港内利用を再編し、外来船入港要請に応えるための岸壁整備などを行う。
- ・漁獲物の鮮度低下や鳥糞等の異物混入を回避し、総合的な衛生管理の強化を図るため、屋根付き岸壁の整備を行う。

基本事項

全体事業費:167.7億円
 事業期間:H28~R12

主要な対策①: 防災対策



津波被害



冠水した漁港道路

主要な対策②: 港内利用再編

小型船に対応した岸壁等の整備により
 地元船の活動拠点の確保

地元漁船の浜松・昆布盛地区へのシフトにより
 外来船受入機能強化



往復航行時間短縮による作業効率向上と
 漁業コスト低減に寄与

主要な対策③: 衛生管理対策

地域の取り組みと連携し
 衛生管理対策を強化



屋根付き岸壁での陸揚げ作業